

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 27-1-103

補助事業名 平成27年度学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

映画の第3次革命と称されるデジタルシネマにフォーカスしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭を開催する。世界各国から作品を募集し、第一次審査を経てノミネートされた作品を、4Kデジタルシネマプロジェクターによる最高水準の上映環境で上映し、国内外の映画界の第一線で活躍するエキスパートから選ばれた審査員が優秀作品を選んで表彰する。当映画祭の開催を通じ、未来の映像業界を担う若い才能を発掘・育成し、また、地域の住民が良質且つ最先端の映像文化に触れる機会を提供する。これにより、個性豊かな地域文化の創造と活力ある地域の発展を実現するとともに、21世紀の映像文化の健全な発展を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。また、地元川口市のオートレース事業を映画祭来場者に広くPRし、レジャースポーツとしての理解の増進を図り、オートレース事業の一層の発展への寄与も目指す。

(2) 会 期：2015年7月18日（土）～26日（日）

(3) 開 催 地：SKIPシティ（埼玉県川口市上青木3-12-63）

こうのすシネマ（埼玉県鴻巣市本町1-2-1）

彩の国さいたま芸術劇場（埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1）



(4) 実施内容

ア. オープニング上映

華やかな雰囲気オープニングセレモニーに引き続き、本映画祭実行委員会
が主体となって製作した『鉄の子』がプレミア上映した。本映画祭にノミ
ネートされた実績のある期待の新鋭福山功起監督の最新作で、地元川口を舞
台に”家族のあり方”を繊細なタッチで描く。なお、本作品は10月の東京国
際映画祭での上映と来年2月の劇場公開が決まっている。

イ. コンペティション部門

- ・ 当映画祭のメインとなるプログラムで、長編・短編・アニメーションの
3部門からなる。世界から公募した長編部門は74の国と地域から469本
(うち国内55本)、国内のクリエイター発掘を目的とする短編部門とア
ニメーション部門は各134本と81本のエントリーがあった。
- ・ 12名の一次審査委員が、映画祭で上映する作品の選考に当たり、海外長
編9作品、国内長編3作品、短編12作品、アニメ14作品をノミネートした。
選ばれた作品は映画祭で各2回ずつ上映され、堀越謙三氏(映画プロ
デューサー)を委員長とする国際審査員、榊井省志氏(映画プロデュー
サー)を委員長とする短編審査員、和田敏克氏(東京造形大学特人教
授)を委員長とするアニメーション審査員による厳正な審査が行われた。
- ・ この結果、長編は、最優秀作品賞、監督賞、脚本賞、SKIPシティア
ワード各1作品、短編は、最優秀作品賞1作品と奨励賞2作品、アニメ
ーションは最優秀作品賞1作品、奨励賞2作品と審査員特別賞1作品を選定
し、トロフィー・賞状・賞金を贈って表彰した。なお、SKIPシティ
アワード受賞者は、次回長編制作時の器材無償貸与等の支援が受けられ
る。受賞作品は次の通りである。

【長編】最優秀作品賞 『ビヘイビア』(キューバ)、監督賞『絶え間ない
悲しみ』(メキシコ)、脚本賞『君だってかわいくないよ』(アイ
ルランド)、SKIPシティアワード『あした生きるという旅』
(日本)。

【短編】最優秀作品賞『私はアーティスト』、奨励賞『オンディーヌの呪
い』、『空っぽの渦』。

【アニメーション】最優秀作品賞『夢かもしれない話』、奨励賞『女生徒』、
『息ができない』、審査員特別賞『幕』。

- * 観客人気投票では、長編は『ビヘイビア』(キューバ)、短編は『ガラ
スの園で月を食らう』、アニメは『Waitz』が各1位に選ばれた。

ウ. 招待作品等

- (a) シネマ歌舞伎…歌舞伎座開場こけら落とし公演で上演され満員の観客を魅了した、坂東玉三郎主演の『二人藤娘』と『日本振袖始』を上映した。
 - (b) 特別上映…長編アニメーション上映…『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦』と『STAND BY ME ドラえもん2D版』(上映後に原監督のトークショー開催)を上映。未就学児の入場を認める“ママシネマ”方式で開催した。
 - (c) バリアフリー上映…昨年大ヒットした『GODZILLA ゴジラ日本語吹替版』を「日本語字幕+音声ガイド付」で上映した。
- エ. サテライト上映
- 遠隔地居住者を含めより多くのファンが映画祭の楽しさを体験できるよう、このすシネマと彩の国さいたま芸術劇場で、2日間にわたり短編コンペティション部門のノミネート作品を上映した。
- オ. 野外映画会…三夜連続で開催した(19日『忍たま乱太郎』、20日『スヌーピーと幸せのブランケット』、21日『アイアンジャイアント』)。夕涼みを兼ねた地元の家族連れを中心に計1000名を超える観客で賑わった。
- カ. 関連企画
- (a) カメラクレヨン～子供たちが作った映画がいま面白い(「川口子ども映画クラブ」制作作品)。
 - (b) コバトンTHEムービー新作上映&トークイベント。
 - (c) Go-a l l 『4ノ猫ーねこぶんのよん』上映&トークイベント
 - (d) アニメDAYスペシャル企画～新しいご当地アニメの紹介『浦和の調ちゃん』上映&トークイベント
- 。
- キ. 関連イベント (SKIPシティ夏祭り)
- ふれあいイベント、オートレースPRコーナー、忍者集団七方出参上、盆踊り、夜店、交通安全体験サイト君、一日動物村、ベーゴマ教室、野菜ソムリエ、宮古島エイサー踊り&泡盛居酒屋 他
- ク. その他:
- シネマカフェ、臨時保育サービス、看護師待機 他



(5) 成果

- ・ 長編コンペティション部門（海外）応募作品数
414作品（目標 400作品／前回 477作品）
- ・ 国内長編コンペティション部門（国内）応募作品数
55作品（目標 55作品／前回 59作品）
- ・ 短編コンペティション部門応募作品数
134作品（目標 125作品／前回 128作品）
- ・ アニメーション・コンペティション部門応募作品数
81作品（目標 60作品／前回 63作品）
- ・ 総観客数 9,375名（目標 8,650名／前回 9,104名）
- ・ 総来場者数 54,810名（目標51,000名／前回 53,749名）
- ・ 応募国数 74の国と地域（前回 84の国と地域）

2. 予想される事業実施効果

- ・ 世界初のデジタルシネマ専門の国際映画祭。その普及・発展に当映画祭が果たした功績は高く評価される。
- ・ 当映画祭は、第1回から若手映像クリエイターの発掘・育成を第一の目標に掲げその為の地道な努力と工夫を重ね着実な成果をあげてきた。当映画祭を巣立った多くのクリエイターが国内外の映画界・映画祭に活躍の場を拓け、今や、「日本を代表する若手の登竜門」との評価を聞くに至っている。
- ・ 地域に支えられ地域と共に歩んだ映画祭である。今後とも地元住民と手を携え、地域を代表し全国に誇れるイベントとして更に価値を高める努力を続けたい。
- ・ 映画祭の発展を起爆剤として、映像を中心とする地域文化の振興、地域コミュニティの活性化、さらに先端映像産業による地域経済の活性化に貢献する。

3. 本事業により作成した印刷物

開催告知ガイド(和文) A2
開催告知ガイド(英文) A2

シネマロードイベント・チラシ



開催告知ポスター B1
開催告知ポスター B2
開催告知ポスター B3

公式プログラム



4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名： 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

住 所： 333-0845

川口市上青木西1-20-3 産業文化会館206

代表者名： 理事長 田中 一成（タナカ カズナリ）

担当部署： 本部（ホンプ）

担当者名： シニア・コーディネーター 井上 宏（イノウエ ヒロシ）

電話番号： 048-259-3421

F A X： 048-253-1305

E-mail： eizov@bf7.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.eizov.com/index.php>

<http://www.skipcity-dcf.jp/>